



200円のキャベツは安いかどうか

校長 田屋 多恵子

大寒を過ぎ、夕方の冷え込みが一段と厳しくなってきました。しかし、そんな中でも校庭の木々をじっくり見てみると、春への準備である冬芽がしっかりふくらみつつあり、一年を振り返る時期となったことを感じます。日々学校の教育活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

さて、年度末になり、今一度、学校の本来の目的について考えてみますと、それは「学力」と「成長」の2つではないかと思えます。児童に「学力」をつけ「成長」を育むこと、別の表現をすると「一人で生きる力・みんなと協力して生きる力」を身に付けることです。

「150円のキャベツは安い」と覚えた人がいたとします。その人がスーパーのキャベツ売り場へ行きました。この日、キャベツは一玉200円でした。その人は「150円のキャベツは安い」と覚えているので、200円のキャベツは高いと思うでしょう。しかし、天候が悪く、ここ1週間の価格が一個300円前後だったとしたら、今日の200円はとても安いのです。

「ストリート・スマート」という言葉がありますが、多くの知識や自分の体験をもとに、実社会でたくましく生きていく力をもつ人を言います。値上がりして300円となったキャベツが、今日は200円でならんでいる。その価格を見て「安い」「高い」の判断できる人が「ストリート・スマート」型の人と言えます。逆に知識はあるが現場での対応能力や判断力のない人を「ブック・スマート」と言います。勉強して得た多くの知識を自分の頭の中でつなぎ合わせ、その場面にふさわしい判断ができること、また自分の頭の中の考えと、まわりの人の考えを合わせてより良い考えをつくること、これらは未来を切り開いていく力です。この「ストリート・スマート」型の学力こそが現代社会が必要とする学力であると企業は言っています。羽沢小学校もこの力を伸ばしたいと思っています。

保護者の皆様には、年末菅田中学校の小中併設の保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。また年を明けて羽沢小の本年度の取り組みに関するアンケートも取らせていただきお手数をおかけしました。羽沢小学校の本年度の取り組みにつきましても保護者・教職員・児童のものをまとめましてまたお知らせしたいと考えております。

この2月より、行事予定を学校だよりに一本化し、学年だよりは行事予定のない形に変わります。今まで学校だよりの行事予定と学年の行事予定がずれるということもあり、ここ2年間検討を続けてまいりました。ご意見などあればまた伺い、改善していきたく思います。